

2014 年度 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	法務研究科	身分	教授
氏名	高橋直哉		
NAME	TAKAHASHI, Naoya		

1. 研究課題

(和文) 刑罰の正当化に関する総合的研究

(英文) Research on the justification of punishment

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度)

(和文)

この研究では、刑罰の正当化にまつわる諸問題を多角的かつ体系的に分析するための基本的視座の探求を主たる目的とした。特に刑罰の正当化にまつわる規範的な問題群 (①「相手方に意図的に害を加えることがなぜ正当化されるのか?」(道徳的正当化)、②「なぜ刑罰を科すのは国家なのか?」(政治哲学的正当化)、③「刑罰を科すに相応しい行為 (=犯罪) は、どのような行為か?」(刑法学的正当化)、④「どうして刑罰を科すために特別な手続きが必要なのか?」(刑事手続的正当化) など) について主として近時の英米刑罰論の議論を参考にしながら、上述した諸問題相互の関係を体系的に整理する観点から規範的な刑罰論の意義について研究を進めてきた。研究を進めた結果、近時の英米における刑罰論の動向については、おおよその見取り図を描くことができる程度の理解が得られたところであり、まずはその成果をまとめて中央ロージャーナルに寄稿する予定である。

(英文)

The purpose of this research is to investigate fundamental perspectives of punishment. Especially, I have researched on the normative theory of punishment. In result I could understand the trend of punishment theory in Anglo-American law. I will contribute articles to CLJ.

[注意事項] ①記入された業績は、学事部企画課で研究者情報データベースに代理登録をします (大学公式ホームページの公開データとなります)

②業績データが多い場合や代理登録時に必要なデータが不足する場合は、学事部企画課より問い合わせをさせていただきます。

3. 研究成果について (研究期間終了後2年以内・予定のものを含めて記入) ※記入欄が不足する場合は、適宜追加ください。

論文	発行年(西暦)・月	年	月	論文標題	無罪推定の拡張について (予定)			
	執筆者	高橋直哉			掲載誌名称	権橋隆幸先生古稀記念論文集		
	巻・号・頁				種別	大学・研究所等紀要、学術雑誌、その他		
	区分	学術論文誌、国際会議、本学機関誌、その他 (随筆等)			種類	論文、翻訳、判例評釈、書評・評論、解説、その他	査読	有・無

論文	発行年(西暦)・月	年	月	論文標題	公法としての刑法 (予定)			
	執筆者	高橋直哉			掲載誌名称	長井 圓先生古稀記念論文集		
	巻・号・頁				種別	大学・研究所等紀要、学術雑誌、その他		
	区分	学術論文誌、国際会議、本学機関誌、その他 (随筆等)			種類	論文、翻訳、判例評釈、書評・評論、解説、その他	査読	有・無

論文	発行年(西暦)・月	年	月	論文標題				
	執筆者				掲載誌名称			
	巻・号・頁				種別	大学・研究所等紀要、学術雑誌、その他		
	区分	学術論文誌、国際会議、本学機関誌、その他 (随筆等)			種類	論文、翻訳、判例評釈、書評・評論、解説、その他	査読	有・無

著書	発行年(西暦)・月	年	月	著書題目				
	出版社				区分	著書、訳書、その他		
	種類	著書、編集、編著書、共著、共編著、翻訳、その他			担当頁数	～		
	著者名				共著者等氏名			

著書	発行年(西暦)・月	年	月	著書題目				
	出版社				区分	著書、訳書、その他		
	種類	著書、編集、編著書、共著、共編著、翻訳、その他			担当頁数	～		
	著者名				共著者等氏名			

口頭発表	発表年(西暦)・月	年	月	会議名等				
	種類	口頭発表、ポスター、学術講演、一般講演、対談・鼎談、学会・研究会報告、その他						
	発表題目							